

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年7月5日

【四半期会計期間】 第12期第1四半期(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

【会社名】 ウエルシアホールディングス株式会社

【英訳名】 WELCIA HOLDINGS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松本 忠久

【本店の所在の場所】 東京都千代田区外神田二丁目2番15号

【電話番号】 03-5207-5878 (代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役兼執行役員最高財務責任者 佐藤 範正

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区外神田二丁目2番15号

【電話番号】 03-5207-5878 (代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役兼執行役員最高財務責任者 佐藤 範正

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第11期 第1四半期 連結累計期間	第12期 第1四半期 連結累計期間	第11期
会計期間		自 2018年3月1日 至 2018年5月31日	自 2019年3月1日 至 2019年5月31日	自 2018年3月1日 至 2019年2月28日
売上高	(百万円)	190,017	210,442	779,148
経常利益	(百万円)	6,758	8,827	31,500
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	4,171	5,441	17,423
四半期包括利益又は包括利益	(百万円)	4,175	5,359	17,277
純資産額	(百万円)	132,597	147,261	143,948
総資産額	(百万円)	305,853	341,202	327,426
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	40.08	52.17	167.25
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)	40.04	52.12	167.08
自己資本比率	(%)	43.0	42.9	43.7

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績等の状況の概要

##### 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間（2019年3月1日～2019年5月31日）におけるわが国の経済は、企業収益の足踏みや雇用環境の改善ペースの鈍化などの弱さがみられるものの、緩やかな回復基調で推移しています。一方、海外の政治経済の不確実性や将来不安を背景とした節約志向により、個人消費は底堅くも力強さに欠ける状況が続いております。

当社グループが主に事業を行うドラッグストア業界は、意欲的な出店等により業界として順調な拡大が続くものの、同業他社や異業種を含む競争の激化や人手不足を背景とした人件費の増加もあり、当社グループを取り巻く環境は、依然厳しい状況が続いております。

また、超高齢社会における健康寿命延伸に向けた健康への意識、社会課題や環境に対する取組みへの関心も高まっており、地域におけるドラッグストアの果たす社会的機能が期待されております。

このような状況下におきまして、当社グループは、既存店の改装などウエルシアモデルの積極的な推進、調剤併設店舗の増加（5月末現在1,304店舗）による調剤売上の伸長等により既存店の売上高は好調に推移いたしました。また、健康をキーワードにした商品開発、レジ袋削減に向けた活動、従業員にとって働きやすい職場環境の実現に向けた取り組み等を行っております。

2019年3月1日付で都市部における事業基盤を強固なものとするため、当社の子会社であるウエルシア薬局株式会社を吸収合併存続会社、株式会社一本堂を吸収合併消滅会社とする組織再編を行いました。

なお、2019年6月1日付で岡山県を中心に出店している金光薬品株式会社（31店舗）を株式取得により子会社化いたしました。

出店と閉店につきましては、東北、近畿を重点出店エリアとし、グループ全体38店舗の出店と3店舗の閉店を実施いたしました。当第1四半期末の当社グループの店舗数は1,913店舗となりました。

（単位：店）

	前期末店舗数 (2019年2月28日)	出店数	閉店数	合併による 増減数	第1四半期末店舗数 (2019年5月31日)
ウエルシア薬局（注）1	1,660	32	1	43	1,734
シミズ薬品	57	1	-	-	58
丸大サクラマ薬局	80	4	2	-	82
一本堂（注）2	43	-	-	43	-
M A S A Y A	34	-	-	-	34
国内計	1,874	37	3	-	1,908
Welcia-BHG(Singapore)	4	1	-	-	5
合計	1,878	38	3	-	1,913

(注) 1 B . B . O N の店舗は、ウエルシア薬局の店舗と併設されているため、ウエルシア薬局の1店舗として計算しております。

2 2019年3月1日付でウエルシア薬局が一本堂を吸収合併したことにより、ウエルシア薬局の第1四半期末店舗数は一本堂の店舗を含めて記載しております。

3 上表の「第1四半期末店舗数」のうち調剤取扱店舗は、ウエルシア薬局1,256店舗、シミズ薬品25店舗、丸大サクラマ薬局19店舗及びWelcia-BHG(Singapore)4店舗の合計1,304店舗、また、深夜営業店舗は、ウエルシア薬局1,340店舗、シミズ薬品52店舗及び丸大サクラマ薬局38店舗の合計1,430店舗となっております。

また、品目別売上高は、下記の通りとなっております。

区 分	金額（百万円）	前年同四半期比(%)
医薬品・衛生介護品・ベビー用品・健康食品	43,090	106.0
調剤	37,372	117.0
化粧品	37,287	111.8
家庭用雑貨	30,225	108.8
食品	46,407	110.7
その他	16,060	111.5
合 計	210,442	110.7

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は210,442百万円（前年同四半期比10.7%増）、営業利益は8,136百万円（同31.3%増）、経常利益は8,827百万円（同30.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,441百万円（同30.4%増）となりました。

#### 財政状態の分析

##### （資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して13,776百万円増加し、341,202百万円となりました。これは主に、商品が5,736百万円、売掛金が3,835百万円及びリース資産（純額）が2,587百万円増加したことによるものです。

##### （負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して10,462百万円増加し、193,941百万円となりました。これは主に、未払法人税等が3,323百万円減少したものの、買掛金が10,448百万円及びリース債務が2,122百万円増加したことによるものです。

##### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して3,313百万円増加し、147,261百万円となりました。これは主に、剰余金の配当により利益剰余金が2,200百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益5,441百万円を計上したことによるものです。

#### (2) 経営方針、経営環境及び対処すべき課題等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針、経営環境及び対処すべき課題等について重要な変更はありません。

#### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	247,473,600
計	247,473,600

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2019年7月5日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	104,816,838	104,816,838	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株 であります。
計	104,816,838	104,816,838	-	-

(注) 提出日現在発行数には、2019年7月1日から四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年3月1日～ 2019年5月31日	-	104,816,838	-	7,736	-	36,913

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2019年2月28日）に基づく株主名簿による記載をしております。

## 【発行済株式】

2019年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 28,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 104,675,700	1,046,757	-
単元未済株式	普通株式 112,638	-	-
発行済株式総数	104,816,838	-	-
総株主の議決権	-	1,046,757	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株(議決権2個)含まれておりません。

2. 「単元未済株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式20株、自己保有株式90株が含まれております。

## 【自己株式等】

2019年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) ウエルシアホールディングス株式会社	東京都千代田区外神田二丁目2番15号	28,500	-	28,500	0.03
計	-	28,500	-	28,500	0.03

(注) 従業員持株E S O P信託の信託財産(所有者名義「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(従業員持株E S O P信託口)」302,800株及び役員報酬B I P信託の信託財産(所有者名義「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬B I P信託口)」203,016株は、上記の自己株式等を含めておりません。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年3月1日から2019年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,364	20,031
売掛金	27,347	31,182
商品	84,527	90,263
その他	10,576	8,794
貸倒引当金	1	9
流動資産合計	141,814	150,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	70,944	73,084
土地	12,919	13,013
リース資産(純額)	34,790	37,378
その他(純額)	5,668	5,782
有形固定資産合計	124,322	129,259
無形固定資産		
のれん	16,181	15,790
その他	2,629	2,598
無形固定資産合計	18,810	18,389
投資その他の資産		
差入保証金	31,460	32,089
その他	11,043	11,225
貸倒引当金	24	24
投資その他の資産合計	42,479	43,290
固定資産合計	185,612	190,940
資産合計	327,426	341,202



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	98,302	108,751
短期借入金	11,635	10,114
リース債務	5,151	5,678
未払金	5,466	5,904
未払法人税等	6,827	3,503
賞与引当金	3,241	4,831
ポイント引当金	34	44
その他	10,051	11,720
流動負債合計	140,711	150,550
固定負債		
長期借入金	8,447	7,423
リース債務	19,425	21,020
資産除去債務	7,992	8,164
退職給付に係る負債	3,392	3,553
役員株式給付引当金	342	383
その他	3,165	2,843
固定負債合計	42,767	43,390
負債合計	183,478	193,941
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,736	7,736
資本剰余金	51,669	51,669
利益剰余金	85,333	88,571
自己株式	1,718	1,557
株主資本合計	143,020	146,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	277	260
為替換算調整勘定	4	26
退職給付に係る調整累計額	243	234
その他の包括利益累計額合計	29	1
新株予約権	236	236
非支配株主持分	661	606
純資産合計	143,948	147,261
負債純資産合計	327,426	341,202

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
売上高	190,017	210,442
売上原価	134,170	146,831
売上総利益	55,846	63,610
販売費及び一般管理費	49,652	55,474
営業利益	6,194	8,136
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	5
不動産賃貸料	194	211
協賛金収入	142	155
その他	347	457
営業外収益合計	691	830
営業外費用		
支払利息	79	93
不動産賃貸原価	37	39
その他	9	7
営業外費用合計	127	139
経常利益	6,758	8,827
特別利益		
固定資産売却益	22	0
投資有価証券売却益	41	-
事業譲渡益	-	63
その他	-	1
特別利益合計	63	66
特別損失		
固定資産売却損	-	128
固定資産除却損	75	51
減損損失	13	33
その他	14	36
特別損失合計	103	249
税金等調整前四半期純利益	6,719	8,643
法人税、住民税及び事業税	1,763	3,496
法人税等調整額	799	265
法人税等合計	2,563	3,230
四半期純利益	4,155	5,413
非支配株主に帰属する四半期純損失( )	16	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,171	5,441

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年5月31日)
四半期純利益	4,155	5,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	17
為替換算調整勘定	0	44
退職給付に係る調整額	6	8
その他の包括利益合計	20	53
四半期包括利益	4,175	5,359
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,190	5,411
非支配株主に係る四半期包括利益	15	51

## 【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分(投資その他の資産「その他」)に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分(固定負債「その他」)に表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
減価償却費	3,066百万円	3,411百万円
のれんの償却額	481百万円	390百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年4月17日 取締役会	普通株式	2,200	21.00	2018年2月28日	2018年5月7日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、従業員持株E S O P信託、株式付与E S O P信託及び役員報酬B I P信託が保有する自社の株式に対する配当金14百万円が含まれております。

## 2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年4月10日 取締役会	普通株式	2,200	21.00	2019年2月28日	2019年5月13日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、従業員持株E S O P信託及び役員報酬B I P信託が保有する自社の株式に対する配当金10百万円が含まれております。

## 2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、医薬品・調剤・化粧品等を中心とした小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	40円08銭	52円17銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	4,171	5,441
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	4,171	5,441
普通株式の期中平均株式数(千株)	104,095	104,298
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	40円04銭	52円12銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	107	104
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株 式で、前連結会計年度末から重要な変動があったも の概要	-	-

(注) 株主資本において自己株式として計上されている信託に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり四半期純利益金額の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は前第1四半期連結累計期間691,479株、当第1四半期連結累計期間489,364株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

2019年4月10日開催の取締役会において、2019年2月28日の株主名簿に記録された株主に対して、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	2,200百万円
1株当たりの金額	21円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年5月13日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年7月5日

ウエルシアホールディングス株式会社  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	轟	一 成
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	石 山 健 太 郎	
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	大 井 秀 樹	

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているウエルシアホールディングス株式会社の2019年3月1日から2020年2月29日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年3月1日から2019年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ウエルシアホールディングス株式会社及び連結子会社の2019年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。